

令和7年度 各会計別補正予算(案)概要

令和7年3月

区 分	令 和 7 年 度 予 算 額			前 年 度 予 算 額 B	比 較 増 減	
	既定予算額	補正予算額	計 A		C=A-B	C/B×100
一 般 会 計 (第 2 号 補 正)	千円 347,553,032	千円 1,889,345	千円 349,442,377	千円 349,917,350	千円 △474,973	% △0.1
国民健康保険特別会計	69,727,027	0	69,727,027	71,355,614	△1,628,587	△2.3
介護保険特別会計	71,696,344	0	71,696,344	70,722,997	973,347	1.4
後期高齢者医療特別会計	19,304,946	0	19,304,946	18,995,400	309,546	1.6
合 計	508,281,349	1,889,345	510,170,694	510,991,361	△820,667	△0.2

※ 前年度予算額は、令和6年度一般会計第6号補正、国民健康保険特別会計第4号補正、介護保険特別会計第3号補正、後期高齢者医療特別会計第3号補正までの額(案)です。

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)総括表

(1)歳入予算款別表

科 目(款)	既定予算額	補正予算額	計		前年度予算額		比較増減	
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比
	千円	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 特別区税	56,742,701	0	56,742,701	16.2	53,400,870	15.3	3,341,831	6.3
2 地方譲与税	1,061,001	0	1,061,001	0.3	1,061,001	0.3	0	0.0
3 利子割交付金	264,000	0	264,000	0.1	264,000	0.1	0	0.0
4 配当割交付金	1,084,000	0	1,084,000	0.3	1,084,000	0.3	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	950,000	0	950,000	0.3	950,000	0.3	0	0.0
6 地方消費税交付金	16,585,000	0	16,585,000	4.7	15,813,000	4.5	772,000	4.9
7 自動車取得税交付金	1	0	1	0.0	3,780	0.0	△3,779	△100.0
8 環境性能割交付金	342,000	0	342,000	0.1	342,000	0.1	0	0.0
9 ゴルフ場利用税交付金	2,403	0	2,403	0.0	2,403	0.0	0	0.0
10 地方特例交付金	573,000	0	573,000	0.2	3,694,832	1.1	△3,121,832	△84.5
11 交通安全対策特別交付金	73,000	0	73,000	0.0	73,000	0.0	0	0.0
12 特別区交付金	116,900,000	0	116,900,000	33.5	115,394,586	33.0	1,505,414	1.3
13 分担金及び負担金	2,232,712	0	2,232,712	0.6	1,923,913	0.5	308,799	16.1
14 使用料及び手数料	4,609,767	0	4,609,767	1.3	4,698,180	1.3	△88,413	△1.9
15 国庫支出金	78,065,423	0	78,065,423	22.3	70,886,216	20.3	7,179,207	10.1
16 都支出金	33,950,686	0	33,950,686	9.7	37,642,741	10.8	△3,692,055	△9.8
17 財産収入	823,622	0	823,622	0.2	687,737	0.2	135,885	19.8
18 寄付金	79,928	0	79,928	0.0	220,305	0.1	△140,377	△63.7
19 繰入金	26,083,106	1,889,345	27,972,451	8.0	32,014,076	9.1	△4,041,625	△12.6
20 繰越金	3,500,000	0	3,500,000	1.0	6,172,219	1.8	△2,672,219	△43.3
21 諸収入	3,630,682	0	3,630,682	1.0	3,588,491	1.0	42,191	1.2
22 特別区債	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳入合計	347,553,032	1,889,345	349,442,377	100.0	349,917,350	100.0	△474,973	△0.1

※ 構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合があります。

(2)歳出予算款別表

科 目 (款)	既定予算額	補正予算額	計		前年度予算額		比較増減	
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比
	千円	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	958,031	0	958,031	0.3	955,781	0.3	2,250	0.2
2 総務費	43,311,348	0	43,311,348	12.4	46,559,436	13.3	△3,248,088	△7.0
3 民生費	164,243,417	0	164,243,417	47.0	162,065,158	46.3	2,178,259	1.3
4 産業経済費	7,457,711	0	7,457,711	2.1	6,345,691	1.8	1,112,020	17.5
5 環境衛生費	24,481,618	0	24,481,618	7.0	28,563,347	8.2	△4,081,729	△14.3
6 土木費	30,133,748	17,500	30,151,248	8.6	24,126,959	6.9	6,024,289	25.0
7 教育費	46,749,626	1,871,845	48,621,471	13.9	51,291,268	14.7	△2,669,797	△5.2
8 公債費	2,730,482	0	2,730,482	0.8	2,956,048	0.8	△225,566	△7.6
9 諸支出金	27,087,051	0	27,087,051	7.8	26,333,662	7.5	753,389	2.9
10 予備費	400,000	0	400,000	0.1	720,000	0.2	△320,000	△44.4
歳 出 合 計	347,553,032	1,889,345	349,442,377	100.0	349,917,350	100.0	△474,973	△0.1

※ 構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合があります。

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)性質別経費

区 分	令和7年度予算額					前年度予算額		比較増減	
	既定予算額		補正予算額	計		金額 B	構成比	金額 C=A-B	前年度比 C/B×100
	金額	構成比	金額	金額A	構成比				
人 件 費	千円 47,869,621	% 13.8	千円 0	千円 47,869,621	% 13.7	千円 44,091,438	% 12.6	千円 3,778,183	% 8.6
扶 助 費	121,040,187	34.8	0	121,040,187	34.6	114,766,869	32.8	6,273,318	5.5
公 債 費	2,730,482	0.8	0	2,730,482	0.8	2,956,048	0.8	△225,566	△7.6
投 資 的 経 費	42,093,412	12.1	0	42,093,412	12.0	39,520,348	11.3	2,573,064	6.5
その他一般行政経費	133,819,330	38.5	1,889,345	135,708,675	38.8	148,582,647	42.5	△12,873,972	△8.7
合 計	347,553,032	100.0	1,889,345	349,442,377	100.0	349,917,350	100.0	△474,973	△0.1

※ 構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合があります。

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)主要事業概要

(単位:千円)

款別補正額	事業名	金額	計上概要
土木費 17,500	1 持続可能なコミュニティバスはるかぜ路線維持事業	16,500	<p>先端技術やデジタルの力を活用した便利で快適な都市「スマート東京」の実現を目指す、都事業の「東京都スマートサービス実装促進プロジェクト(別紙1)」を活用した、「コミュニティバスはるかぜ」の課題解決に向けた取組みに関する費用を補正計上する。</p> <p>1 はるかぜ協働事業路線(※)の運行ダイヤ最適化負担金 16,500千円 利用者の利便性向上とバス運転士の労務環境改善に向け、区が令和6年9月から実施している全日全便の乗降調査データを都事業で採択された民間事業者へ提供し、AIによる路線・曜日・時間帯ごとの特性を踏まえた運行ダイヤの構築に要する経費を補正計上する。 ※ はるかぜ協働事業路線(2事業者7路線。別紙2) コミュニティバス「はるかぜ」10路線のうち、区民の移動手段を維持するために、令和6年4月からバス事業者と協定を締結し、区が運行に要する費用(運行経費から運行収入を差し引いた額)を負担している路線。</p> <p>(1) はるかぜ協働事業路線の課題と現状 ア 早朝や夜間、曜日によって利用率の少ない時間帯がある一方、一部路線では道路混雑等の影響から通勤通学時間帯に慢性的な遅延が生じており、利便性が低下している。 イ 慢性的な遅延は適切な休憩時間等が確保できなくなるなど、バス運転士の労務環境悪化の一因となっている。 ウ 利便性向上や労務環境改善のためには、ダイヤ改正により需給バランスを整える必要があるが、2事業者とも手作業でダイヤ編成している状況であり、対応に苦慮していた。 エ 大手バス会社が活用しているダイヤ編成の支援を行う既存システムの導入には億単位の経費がかかり、協働事業の7路線のみでは費用対効果が乏しいことが判明したことから、解決策を模索していた。</p> <p>(2) 事業内容 スマートサービス実装促進事業者((株)eiicon)と都事業で採択した民間事業者と令和7年4月初旬に3者協定を締結し、以下を実施する。 ア 区が提供する停留所ごとの乗降者数や遅延時間のデータ分析及び可視化。 イ AIによる路線・曜日・時間帯ごとの特性を踏まえた運行ダイヤの構築。 ※ 7路線の運行ダイヤの最適化作業に要する費用19,500千円のうち、都事業の補助額3,000千円を除いた16,500千円を区が負担する。</p>

款別補正額	事業名	金額	計上概要																		
(土木費)	(持続可能なコミュニティバスはるかぜ路線維持事業)		<p>(3) 今後の予定</p> <p>ア 新日本観光自動車が行う4路線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和7年</td> <td>4月～6月</td> <td>利用実態の分析、AIアルゴリズムモデルの構築</td> </tr> <tr> <td>7月～9月</td> <td>運行ダイヤ案の作成(4路線)、運輸局へ届出</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>ダイヤ改正</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 日立自動車交通が行う3路線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和7年</td> <td>7月～11月</td> <td>運行ダイヤ改正案の作成(3路線)、運輸局へ届出</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>ダイヤ改正</td> </tr> </tbody> </table>	時期		内容	令和7年	4月～6月	利用実態の分析、AIアルゴリズムモデルの構築	7月～9月	運行ダイヤ案の作成(4路線)、運輸局へ届出	10月	ダイヤ改正	時期		内容	令和7年	7月～11月	運行ダイヤ改正案の作成(3路線)、運輸局へ届出	12月	ダイヤ改正
時期		内容																			
令和7年	4月～6月	利用実態の分析、AIアルゴリズムモデルの構築																			
	7月～9月	運行ダイヤ案の作成(4路線)、運輸局へ届出																			
	10月	ダイヤ改正																			
時期		内容																			
令和7年	7月～11月	運行ダイヤ改正案の作成(3路線)、運輸局へ届出																			
	12月	ダイヤ改正																			
	2 多様な交通推進事業	1,000	<p>先端技術やデジタルの力を活用した便利で快適な都市「スマート東京」の実現を目指す、都事業の「東京都スマートサービス実装促進プロジェクト(別紙1)」を活用した、「足タク」の課題解決に向けた取組みに関する費用を補正計上する。</p> <p>1 足タク精算事務等デジタル化負担金 1,000千円 入谷・鹿浜地区の「足タク」が令和7年4月1日から本格運行することに伴い、協力タクシー事業者の負担軽減を図るため精算事務等のデジタル化に要する費用を補正計上する。</p> <p>(1) 精算事務等のデジタル化の必要性 実証実験のなかで、「足タク」の協力タクシー事業者から、「利用実績集計や領収書等をもとにした精算事務が手作業のため負担」との意見が挙げられた。 そのため、システムやタブレット等を活用し、オンラインによる集計・精算事務を導入することで協力事業者の負担軽減を図る(別紙3参照)。</p> <p>(2) 事業内容 集計・精算事務に係る入力用インターフェース(Webアプリケーションを想定)の開発、実装。前出、東京都スマートサービス実装促進プロジェクトを活用し、スマートサービス実装促進事業者((株)eiicon)と都事業で採択した民間事業者と三者協定を締結する。 なお、開発は都事業のなかで行われ、区は、実装後のランニングコスト(システム保守費用等)を負担する。令和7年度は、運用開始となる令和7年8月から令和8年3月の8か月分として1,000千円(125千円/月)を計上し、令和8年4月以降は令和8年度当初予算へ計上する。</p> <p>(3) 今後の予定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和7年</td> <td>4月初旬</td> <td>協定書締結</td> </tr> <tr> <td>4月～7月</td> <td>入力用インターフェース開発、タクシー事業者との調整等</td> </tr> <tr> <td>8月～</td> <td>運用開始</td> </tr> </tbody> </table>	時期		内容	令和7年	4月初旬	協定書締結	4月～7月	入力用インターフェース開発、タクシー事業者との調整等	8月～	運用開始								
時期		内容																			
令和7年	4月初旬	協定書締結																			
	4月～7月	入力用インターフェース開発、タクシー事業者との調整等																			
	8月～	運用開始																			

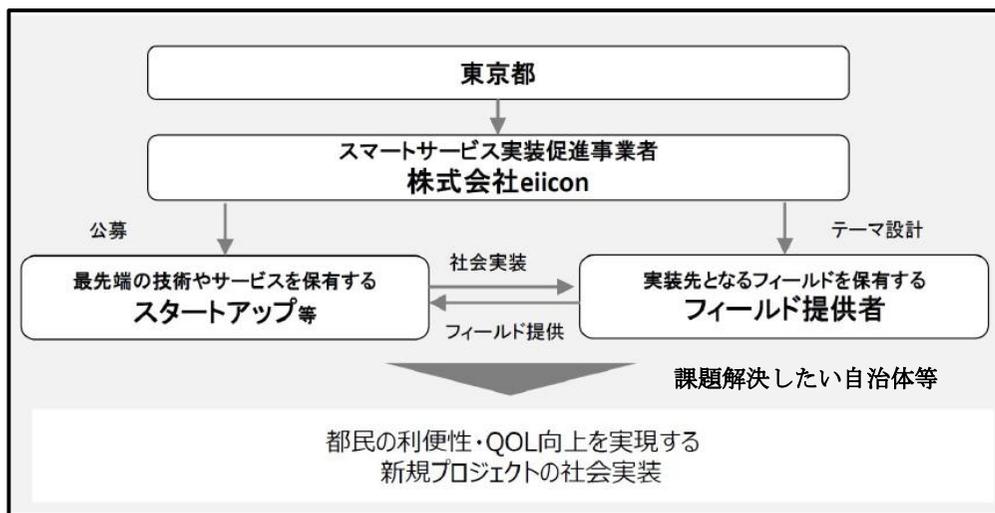
東京都スマートサービス実装促進プロジェクト

独創性・機動力にあふれるスタートアップ等への支援を通じて、都内全体をフィールドにスマートサービスを実装することで、都民の暮らしの利便性・QOL（クオリティ・オブ・ライフ）向上を目指す実装促進プロジェクトのこと。

1 事業につき最大 300 万円までスマートサービス実装促進事業者から採択事業者へ開発・実装事業費が支払われる。

「はるかぜ協働事業路線の運行ダイヤ最適化」「足タクの精算事務等のデジタル化」の2つの課題の解決を図るために、足立区がフィールド提供者として本プロジェクトへ参画。

(1) プロジェクトの流れ



- ※ 株式会社 eiicon から実証・実装に関する費用をスタートアップ企業へ最大 300 万円補助。
- ※ 本プログラムの応募資格として創業後原則 20 年以内などの一定の条件がある。
- ※ 足立区以外に民間企業等もフィールド提供者として参画。

(2) これまでの経緯について

時期		内容
令和 6 年	10 月下旬	スタートアップの募集開始
	11 月上旬	プログラム説明会
	12 月	募集締切、書類選考
令和 7 年	1 月	Web 面談
	2 月	採択企業 (2 社) と打合せ

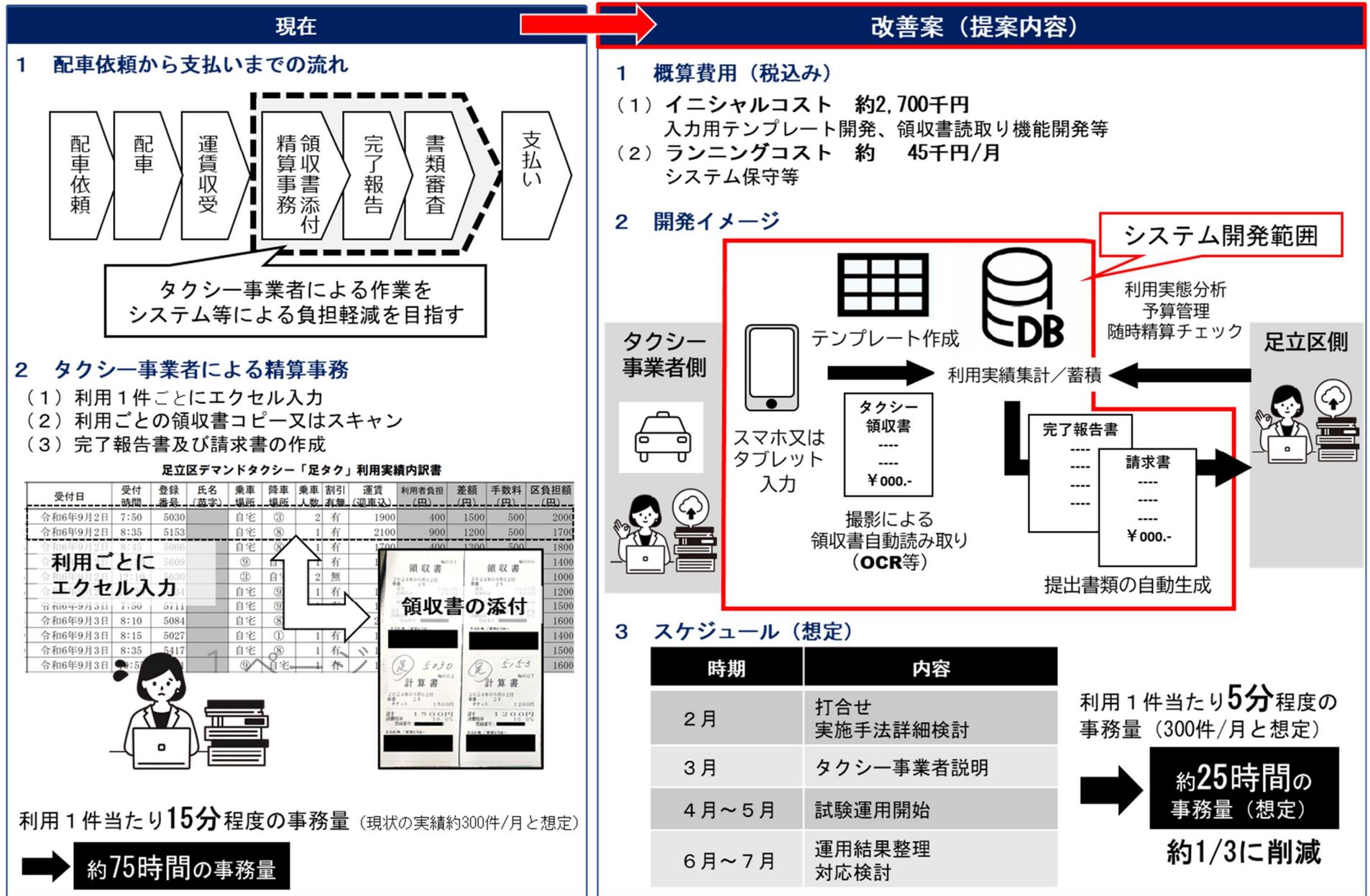
- ※ 採択企業名は令和 7 年 3 月下旬に公表予定
- ※ 「はるかぜの運行ダイヤ最適化」「足タクの精算事務等のデジタル化」はそれぞれ別の企業が採択されている。

はるかぜ協働事業7路線 運行経路図

路線名	事業者
はるかぜ1号 (西新井・綾瀬線)	日立自動車
はるかぜ5号 (北千住駅西側地域循環)	新日本観光
はるかぜ6号 (北千住・鹿浜線)	新日本観光
はるかぜ8号 (小台・宮城循環)	新日本観光
はるかぜ9号 (青井・亀有線)	日立自動車
はるかぜ11号 (堀之内・椿循環)	新日本観光
はるかぜ12号 (西新井・亀有線)	日立自動車



足タクの精算事務等のデジタル化イメージ



款別補正額	事業名	金額	計上概要																																																																																																					
教育費 1,871,845	1 小・中学校運営管理事業 小・中学校児童・生徒保護者負担軽減事業	1,871,845	<p>「子育て世帯に関するアンケート」の単純集計結果において、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」との意見が多かったことを踏まえ、保護者負担を軽減するため、補助教材費、修学旅行・自然教室、入学準備にかかる費用について区独自の補助を行う。</p> <p>《参考》他区の状況</p> <table border="1" data-bbox="927 344 2152 1201"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> <th>足立区</th> <th>A区</th> <th>B区</th> <th>C区</th> <th>D区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助教材費</td> <td>各区で定める補助教材購入経費</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ (一部)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td>中学3年生</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自然教室</td> <td>小学5年生（食事代）</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>小学6年生（食事代）</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中学1年生（食事代）</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">入学準備金</td> <td rowspan="5">小学生</td> <td>①ランドセル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②上履き、体操服</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③教材費（朝顔セット・図工キット等）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④鍵盤ハーモニカ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤絵具セット</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中学生</td> <td>①標準服 （ブレザー・スラックス・スカート）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②ワイシャツ等</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③通学バック</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④体操服・ジャージ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※ 他区の状況はプレス発表資料より</p>					内容		足立区	A区	B区	C区	D区	補助教材費	各区で定める補助教材購入経費	○	○	○ (一部)		○	修学旅行	中学3年生	○	○	○	○	○	自然教室	小学5年生（食事代）	○		○		○	小学6年生（食事代）	○		○	○	○	中学1年生（食事代）	○		○		○	入学準備金	小学生	①ランドセル	○					②上履き、体操服	○					③教材費（朝顔セット・図工キット等）	○	○				④鍵盤ハーモニカ	○					⑤絵具セット	○	○				中学生	①標準服 （ブレザー・スラックス・スカート）	○	○				②ワイシャツ等	○					③通学バック	○					④体操服・ジャージ	○				
内容		足立区	A区	B区	C区	D区																																																																																																		
補助教材費	各区で定める補助教材購入経費	○	○	○ (一部)		○																																																																																																		
修学旅行	中学3年生	○	○	○	○	○																																																																																																		
自然教室	小学5年生（食事代）	○		○		○																																																																																																		
	小学6年生（食事代）	○		○	○	○																																																																																																		
	中学1年生（食事代）	○		○		○																																																																																																		
入学準備金	小学生	①ランドセル	○																																																																																																					
		②上履き、体操服	○																																																																																																					
		③教材費（朝顔セット・図工キット等）	○	○																																																																																																				
		④鍵盤ハーモニカ	○																																																																																																					
		⑤絵具セット	○	○																																																																																																				
	中学生	①標準服 （ブレザー・スラックス・スカート）	○	○																																																																																																				
		②ワイシャツ等	○																																																																																																					
		③通学バック	○																																																																																																					
④体操服・ジャージ		○																																																																																																						

款別補正額	事業名	金額	計上概要																																												
(教育費)	(小・中学校運営管理事業) (小・中学校児童・生徒保護者負担軽減事業)		<p>1 補助教材費、修学旅行・自然教室にかかる費用の補助 863,845千円</p> <p>(1) 補助教材費</p> <p>ア 補助内容 足立区立学校規則により届け出されている補助教材とする。 副読本、解説書その他の参考書、各種の学習帳、練習帳、日記帳 ※ 令和7年度購入分から補助する。</p> <p>イ 補助対象者 区立学校の在籍児童・生徒全員分</p> <p>ウ 補助額</p> <table border="1" data-bbox="1032 475 2101 959"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>一人あたりの補助上限額 (※1)</th> <th>対象人数 (※2)</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>小学1年生</td><td>8,000円</td><td>4,890人</td><td>39,120千円</td></tr> <tr><td>小学2年生</td><td>8,000円</td><td>4,910人</td><td>39,280千円</td></tr> <tr><td>小学3年生</td><td>9,000円</td><td>5,120人</td><td>46,080千円</td></tr> <tr><td>小学4年生</td><td>9,000円</td><td>5,320人</td><td>47,880千円</td></tr> <tr><td>小学5年生</td><td>11,000円</td><td>5,220人</td><td>57,420千円</td></tr> <tr><td>小学6年生</td><td>11,000円</td><td>5,430人</td><td>59,730千円</td></tr> <tr><td>中学1年生</td><td>14,000円</td><td>4,710人</td><td>65,940千円</td></tr> <tr><td>中学2年生</td><td>9,000円</td><td>4,720人</td><td>42,480千円</td></tr> <tr><td>中学3年生</td><td>11,000円</td><td>4,820人</td><td>53,020千円</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>450,950千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現状の補助教材購入経費を踏まえ、物価高騰の影響を考慮した上で教育委員会として精査した額を上限額として設定する。各校は補助上限内で補助教材の選定を行う。</p> <p>※2 転入者を考慮し、令和6年度それぞれの学年の児童・生徒数から5%増すると見込んで算出した。また、就学援助及び生活保護受給者も人数に含まれている。</p>	学年	一人あたりの補助上限額 (※1)	対象人数 (※2)	予算額	小学1年生	8,000円	4,890人	39,120千円	小学2年生	8,000円	4,910人	39,280千円	小学3年生	9,000円	5,120人	46,080千円	小学4年生	9,000円	5,320人	47,880千円	小学5年生	11,000円	5,220人	57,420千円	小学6年生	11,000円	5,430人	59,730千円	中学1年生	14,000円	4,710人	65,940千円	中学2年生	9,000円	4,720人	42,480千円	中学3年生	11,000円	4,820人	53,020千円	合計			450,950千円
学年	一人あたりの補助上限額 (※1)	対象人数 (※2)	予算額																																												
小学1年生	8,000円	4,890人	39,120千円																																												
小学2年生	8,000円	4,910人	39,280千円																																												
小学3年生	9,000円	5,120人	46,080千円																																												
小学4年生	9,000円	5,320人	47,880千円																																												
小学5年生	11,000円	5,220人	57,420千円																																												
小学6年生	11,000円	5,430人	59,730千円																																												
中学1年生	14,000円	4,710人	65,940千円																																												
中学2年生	9,000円	4,720人	42,480千円																																												
中学3年生	11,000円	4,820人	53,020千円																																												
合計			450,950千円																																												

款別補正額	事業名	金額	計上概要																																
(教育費)	(小・中学校運営管理事業) (小・中学校児童・生徒保護者負担軽減事業)		<p>(2) 修学旅行費</p> <p>ア 補助内容 修学旅行にかかるすべての金額(財調単価@73,520を上限とする) ※ 令和7年度実施分から補助する。</p> <p>イ 補助対象者 区立学校の中学3年生全員分</p> <p>ウ 補助額</p> <table border="1" data-bbox="1034 408 2065 584"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>一人あたりの補助上限額(※)</th> <th>対象人数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学3年生</td> <td>73,520円</td> <td>4,820人</td> <td>354,366千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>354,366千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 就学援助の財調単価を補助上限額とする。</p> <p>(3) 自然教室</p> <p>ア 補助内容 食事代(拝観料や体験料は含まれない。なお、バス代や国立施設使用料は既に公費負担となっている) ※ 令和7年度実施分から補助する。</p> <p>イ 補助対象者 区立学校の小学5年生・小学6年生・中学1年生全員分</p> <p>ウ 補助額</p> <table border="1" data-bbox="1034 900 2065 1171"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>一人あたりの補助上限額(※)</th> <th>対象人数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学5年生</td> <td>4,040円</td> <td>5,220人</td> <td>21,089千円</td> </tr> <tr> <td>小学6年生</td> <td>3,460円</td> <td>5,430人</td> <td>18,788千円</td> </tr> <tr> <td>中学1年生</td> <td>3,960円</td> <td>4,710人</td> <td>18,652千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>58,529千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各施設での食事代(6食分を想定)を補助上限額とする。</p> <p>(4) スケジュール 令和7年4月中 保護者からの委任状提出 令和7年5月中 学校長口座へ概算払い 令和7年度末 精算処理</p>	学年	一人あたりの補助上限額(※)	対象人数	予算額	中学3年生	73,520円	4,820人	354,366千円	合計			354,366千円	学年	一人あたりの補助上限額(※)	対象人数	予算額	小学5年生	4,040円	5,220人	21,089千円	小学6年生	3,460円	5,430人	18,788千円	中学1年生	3,960円	4,710人	18,652千円	合計			58,529千円
学年	一人あたりの補助上限額(※)	対象人数	予算額																																
中学3年生	73,520円	4,820人	354,366千円																																
合計			354,366千円																																
学年	一人あたりの補助上限額(※)	対象人数	予算額																																
小学5年生	4,040円	5,220人	21,089千円																																
小学6年生	3,460円	5,430人	18,788千円																																
中学1年生	3,960円	4,710人	18,652千円																																
合計			58,529千円																																

款別補正額	事業名	金額	計上概要																
(教育費)	(小・中学校運営管理事業) (小・中学校児童・生徒保護者負担軽減事業)		<p>2 入学準備金(仮称)の支給 1,008,000千円 「子育て世帯に関するアンケート」の単純集計結果において、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」との意見が多かったことを踏まえ、特に多額の費用が発生する入学準備にかかる保護者負担を軽減するため、入学準備金(仮称)を対象の保護者に支給する。</p> <p>(1) 補助内容 小学校や中学校入学時に必要な購入物品に係る経費</p> <p><参考:入学時に必要な購入物品の例> 小学校:ランドセル、体操服、防災頭巾、上履き、水筒、朝顔セット、絵具セット、色鉛筆、クレヨン、図工セット、鍵盤ハーモニカなど 中学校:標準服、ジャージ上下、体操服、ハーフパンツ、上履き、通学カバンなど</p> <p>(2) 補助対象者 令和8年4月に新1年生となる全児童・生徒(区立・私立は問わない)</p> <p>(3) 補助額 入学準備金(仮称)(令和8年4月入学予定者から支給予定)</p> <table border="1" data-bbox="1016 738 2096 962"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>一人あたりの補助額(※1)</th> <th>対象人数(※2)</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新小学1年生</td> <td>100,000円</td> <td>4,620人</td> <td>462,000千円</td> </tr> <tr> <td>新中学1年生</td> <td>100,000円</td> <td>5,460人</td> <td>546,000千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>1,008,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 あくまでも入学時に必要な購入物品の例を勘案して、補助額を設定する。 なお、進級時に必要となる、書道セットやリコーダー等は含んでいない。 ※2 転入者を考慮し、令和8年度に新入生となる人数から5%増すると見込んで算出した。また、就学援助及び生活保護受給者も人数に含まれている。</p> <p>(4) スケジュール 令和7年6月補正 システム経費及び事務経費(印刷代・郵送代等)を予算計上 令和7年10月～11月 対象児童・生徒の保護者あてに口座情報を記載する申請書を送付 令和7年12月中旬 指定された口座に入金</p>	学年	一人あたりの補助額(※1)	対象人数(※2)	予算額	新小学1年生	100,000円	4,620人	462,000千円	新中学1年生	100,000円	5,460人	546,000千円	合計			1,008,000千円
学年	一人あたりの補助額(※1)	対象人数(※2)	予算額																
新小学1年生	100,000円	4,620人	462,000千円																
新中学1年生	100,000円	5,460人	546,000千円																
合計			1,008,000千円																
合計	1,889,345																		

特定目的基金の積立状況

予算ベース

↓R5決算時

(単位:千円)

一般会計		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
項目	基金の主な使途	5年度末 現在高a	6年度 当初積立	6年度 当初取崩	6年度 当初現在高A	剰余金 基金編入	補正6号まで 積立計	補正6号まで 取崩計	6年度末 現在高b	6年度末 現在高の割合	7年度 当初積立	7年度 当初取崩	7年度 当初現在高B	7年度 1号取崩	7年度 2号積立	7年度 2号取崩	7年度末 現在高c	7年度末 現在高の割合	当初現在高 比較B-A	年度末 現在高比較c-b	
I 財源対策のための基金																					
1	財政調整基金	財源不足、災害復旧等必要とされる事業	48,570,746	28,650	11,940,229	36,659,167	6,300,000	15,970	△ 1,884,856	44,859,993	25.5%	59,270	10,246,639	34,672,624	210,081		1,889,345	32,573,198	21.8%	△ 1,986,543	△ 12,286,795
2	減債基金	特別区債の償還	4,501,510	6,410	500,000	4,007,920		2,660	0	4,010,580	2.3%	12,280	500,000	3,522,860			3,522,860	2.4%	△ 485,060	△ 487,720	
合計		53,072,256	35,060	12,440,229	40,667,087	6,300,000	18,630	△ 1,884,856	48,870,573	27.7%	71,550	10,746,639	38,195,484	210,081	0	1,889,345	36,096,058	24.2%	△ 2,471,603	△ 12,774,515	
II 施設整備のための基金(主にハード事業)																					
1	義務教育施設建設資金積立基金	小・中学校施設整備	56,277,114	78,420	6,326,107	50,029,427		6,032,940	490,632	55,571,735	31.6%	162,780	5,660,734	50,073,781				50,073,781	33.6%	44,354	△ 5,497,954
2	教育ICT環境整備資金積立基金	教育ICT環境の更新	6,100,000	3,060	2,765,142	3,337,918		6,980	△ 645,396	3,990,294	2.3%	12,610	723,566	3,279,338				3,279,338	2.2%	△ 58,580	△ 710,956
3	子ども・子育て施設整備基金	保育施設、学童保育室の整備	595,681	3,308	232,506	366,483		258	△ 69,566	436,307	0.2%	3,642	236,800	203,149				203,149	0.1%	△ 163,334	△ 233,158
4	地域福祉振興基金	特別養護老人ホーム、障がい福祉施設の整備	6,359,811	19,052	1,444,333	4,934,530		23,351	△ 140,370	5,098,251	2.9%	27,541	718,327	4,407,465				4,407,465	3.0%	△ 527,065	△ 690,786
5	公共施設建設資金積立基金	住区センター、地域学習センター、スポーツ施設等の整備	49,916,694	65,570	8,576,387	41,405,877		8,037,263	△ 400,547	49,843,687	28.3%	130,120	4,864,931	45,108,876				45,108,876	30.3%	3,702,999	△ 4,734,811
6	一般区営住宅改修整備資金積立基金	区営住宅の大規模修繕・建替	1,620,848	152,260	146,143	1,626,965		1,160	△ 51,340	1,679,465	1.0%	154,780	388,968	1,445,277				1,445,277	1.0%	△ 181,688	△ 234,188
7	災害対策基金	防災強化に資する整備、被災後の応急・復旧対策、耐震化助成	5,738,218	8,110	1,269,000	4,477,328		3,500	117,000	4,363,828	2.5%	14,430	1,397,060	2,981,198				2,981,198	2.0%	△ 1,496,130	△ 1,382,630
8	竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立基金	竹ノ塚駅付近の鉄道立体化の整備	1,322,012	2,570	341,467	983,115		650	0	983,765	0.6%	3,240	138,000	849,005				849,005	0.6%	△ 134,110	△ 134,760
合計		127,930,378	332,350	21,101,085	107,161,643	0	14,106,102	△ 699,587	121,967,332	69.3%	509,143	14,128,386	108,348,089	0	0	0	108,348,089	72.7%	1,186,446	△ 13,619,243	
III 特定の事業推進のための基金(主にソフト事業)																					
1	育英資金積立基金	奨学金の給付・貸付・返済支援、高校等入学準備金助成	2,252,983	598,374	342,136	2,509,221		22,031	△ 53,669	2,584,921	1.5%	103,560	420,200	2,268,281				2,268,281	1.5%	△ 240,940	△ 316,640
2	あだち子どもの未来応援基金	子ども食堂運営団体等の支援 児童養護施設退所時の支援	532,892	101,690	73,584	560,998		64,201	△ 15,439	640,638	0.4%	202,720	215,000	628,358				628,358	0.4%	67,360	△ 12,280
3	協働・協創パートナー基金	居場所づくり等社会貢献活動を行うNPO団体等への支援	211,106	1,300	9,000	203,406		3,185	△ 2,696	209,287	0.1%	1,610	9,900	200,997				200,997	0.1%	△ 2,409	△ 8,290
4	文化芸術振興基金	区民の文化活動を支援	278,331	390	16,600	262,121		133,709	50,000	345,830	0.2%	18,900	66,600	298,130				298,130	0.2%	36,009	△ 47,700
5	環境基金	エコ活動に取り組む区民・団体等への支援	344,572	760	30,000	315,332		3,114	△ 20,654	339,100	0.2%	1,300	15,000	325,400				325,400	0.2%	10,068	△ 13,700
6	緑の基金	保存樹木育成、樹木樹勢回復、荒川河川敷桜・つつみの管理	1,175,558	4,650	20,399	1,159,809		4,941	0	1,164,750	0.7%	9,440	243,657	930,533				930,533	0.6%	△ 229,276	△ 234,217
合計		4,795,442	707,164	491,719	5,010,887	0	231,181	△ 42,458	5,284,526	3.0%	337,530	970,357	4,651,699	0	0	0	4,651,699	3.1%	△ 359,188	△ 632,827	
総合計 (I+II+III)		185,798,076	1,074,574	34,033,033	152,839,617	6,300,000	14,355,913	△ 2,626,901	176,122,431	100.0%	918,223	25,845,382	151,195,272	210,081	0	1,889,345	149,095,846	100.0%	△ 1,644,345	△ 27,026,585	

介護保険特別会計

項目	5年度末 現在高a	6年度 当初積立	6年度 当初取崩	6年度 当初現在高A	補正3号まで 積立計	補正3号まで 取崩計	6年度末 現在高b	7年度 当初積立	7年度 当初取崩	7年度 当初現在高B	7年度末 現在高c	当初現在高 比較B-A	年度末 現在高比較c-b		
1 介護保険給付準備基金	次期介護保険料の上昇抑制等	3,206,548	3,260	744,000	2,465,808		1,118,396	59,331	3,524,873	10,010	1,121,000	2,413,883	2,413,883	△ 51,925	△ 1,110,990

※表示金額は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合があります。